クイックスタートガイド

JP

ULTRATONE
K3000FX/K1800FX/K900FX/K450FX

Ultra-Flexible 300/180/90/45-Watt 4/3-Channel PA System / Keyboard Amplifier with FX and FBQ Feedback Detection

V 6.0

behringer

JP 安全にお使いいただくために

注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ(三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。
14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。
15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。

17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。
18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。
19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。
20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。
21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

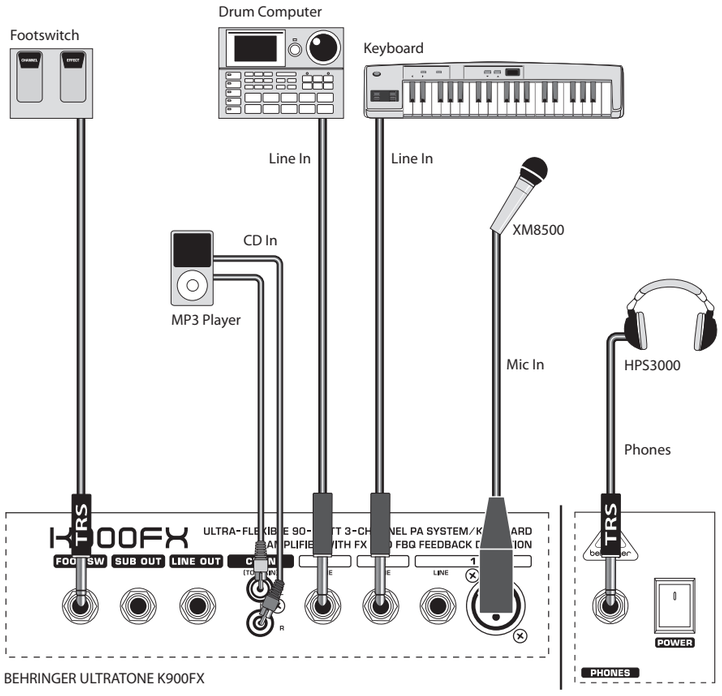
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

JP

ULTRATONE K3000FX/K1800FX/K900FX/K450FX フックアップ

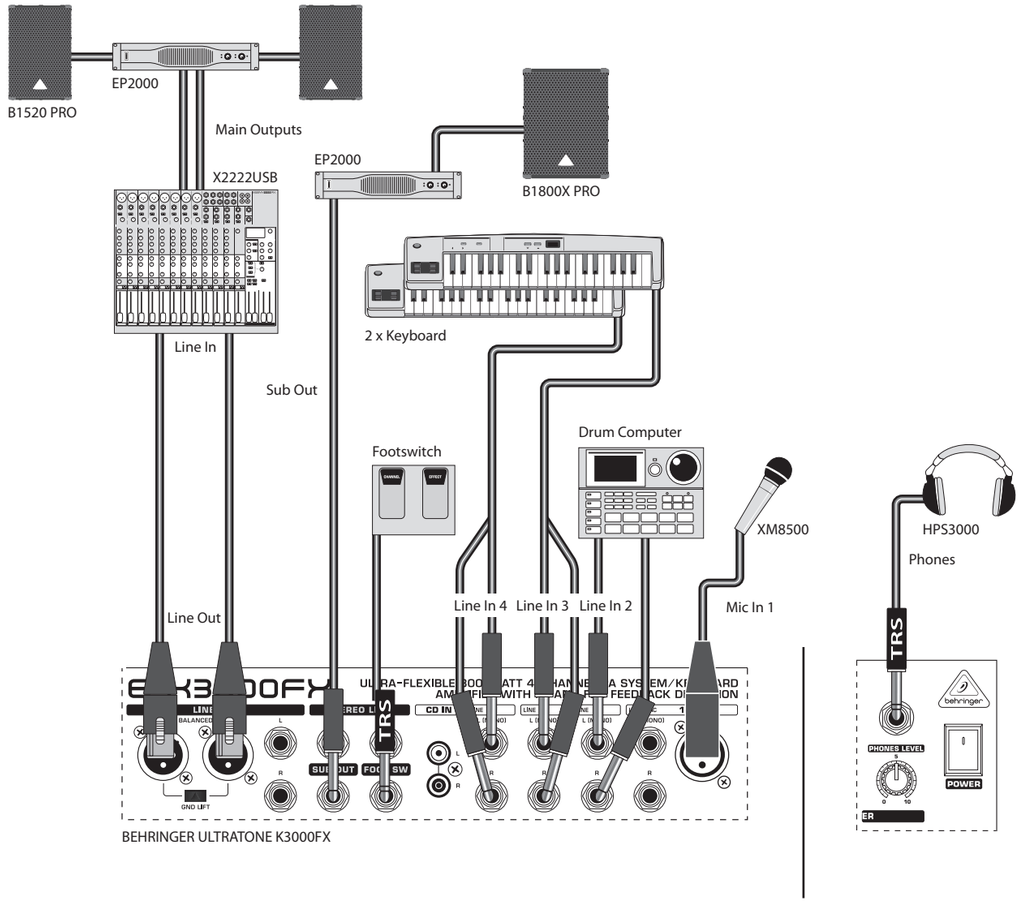
ステップ 1: フックアップ

ULTRATONE を使用したセットアップ例



BEHRINGER ULTRATONE K900FX

ライブセットアップ

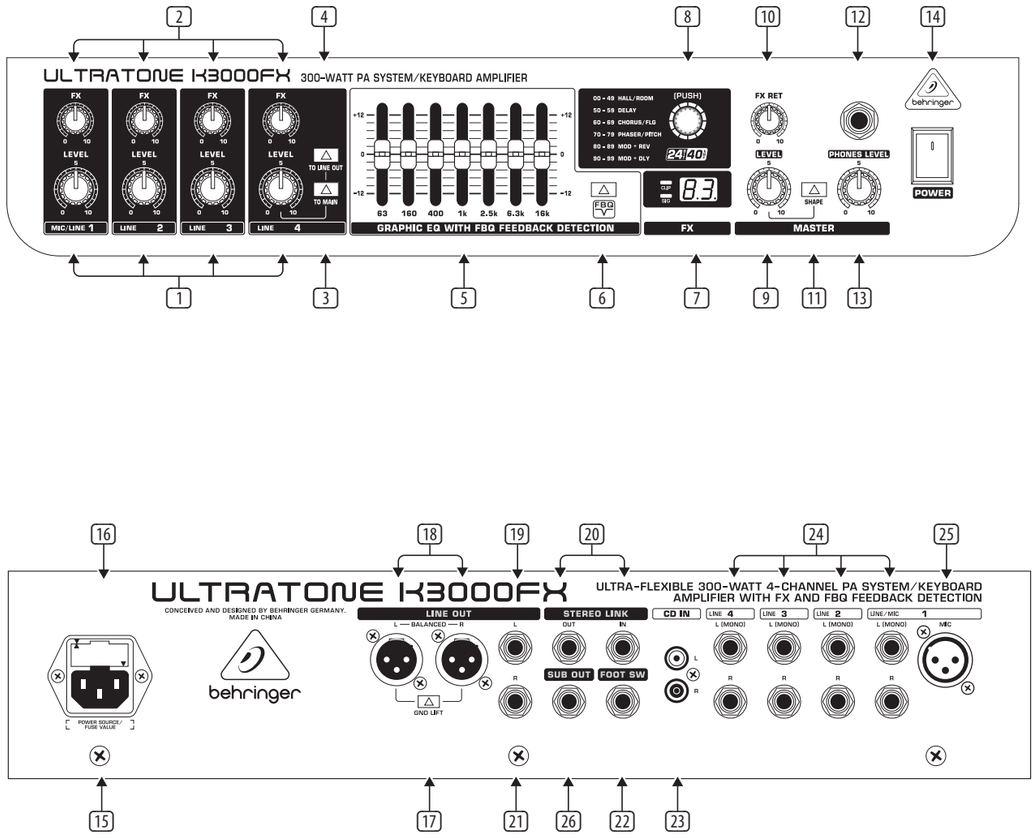


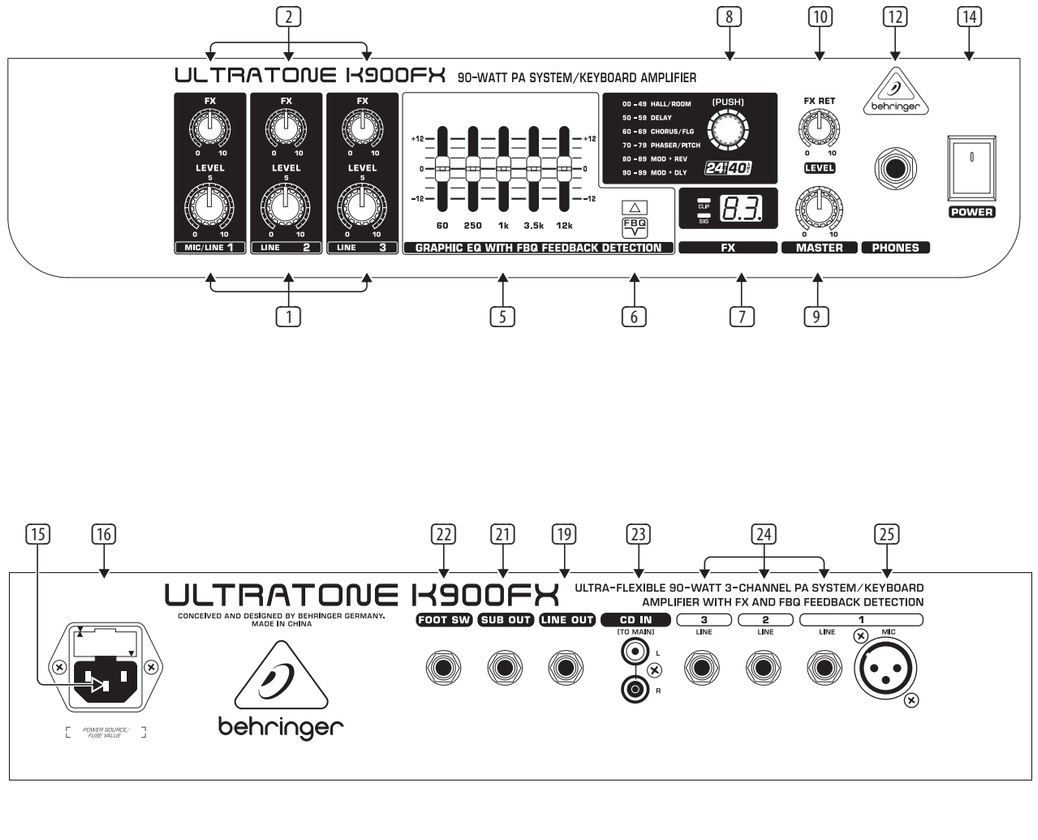
BEHRINGER ULTRATONE K3000FX

JP

ULTRATONE K3000FX/K1800FX/K900FX/K450FX コントロール

ステップ 2: コントロール





JP

ULTRATONE K3000FX/K1800FX/K900FX/K450FX コントロール

ステップ 2: コントロール

1. **LEVEL** コントロールによりチャンネル 1 - 4 の信号レベルを調整します (K900FX および K450FX の場合、チャンネル 1 - 3)。
2. **FX** コントロールにより、内蔵エフェクトプロセッサーの入力時におけるチャンネル 1 - 4 の信号レベルを調整します (K900FX および K4500FX の場合、チャンネル 1 - 3)。
3. 通常、チャンネル 4 の信号 (K3000FX および K1800FX のみ) はエフェクトのない PHONES 出力へのみ送られます。これにより、外部に聞こえないように練習したり、メトロノームをヘッドフォンへのみ接続してスピーカーを使用しないようにしたりすることが可能となります。**TO MAIN** ボタンを押すと、さらに信号がスピーカーへエフェクトなしで送られます。
4. **TO LINE OUT** ボタンを押すと、チャンネル 4 の信号がさらに LINE OUT 出力へエフェクトなしで送られます (K3000FX および K1800FX のみ)。TO MAIN ボタンおよび TO LINE ボタンを押すと、チャンネル 4 の信号がチャンネル 1 - 3 と同様になります。信号はスピーカーおよび LINE OUT 出力へエフェクト付きで送られます。
5. ULTRATONE には、7 バンドグラフィックイコライザーが搭載されています (K900FX および K450FX の場合、5 バンドグラフィックイコライザー) イコライザーを使用し、室内音響にサウンドを適合させてください。
6. **FBQ** スイッチを押すと、FBQ フィードバック検知システムを起動させることができます。フィードバック発生の原因となる周波数はフェーダー LED の点灯で表示されます。フィードバックが消えるまでそれぞれの周波数レンジのレベルを下げると、LED が消えます。
7. **FX** ディスプレイで現在選択中のプリセットを確認できます。エフェクトプロセッサーへ入力信号が送られると、SIG LED が点灯します。CLIP LED が点灯した場合には、それぞれの FX コントロールを使用してエフェクト入力信号を下げてください 2。
8. **FX** コントロールを回し、エフェクトプリセットを選択してください (プリセット番号が点滅します)。コントロールボタンを押して選択内容を確定してください。
9. マスター部上の **LEVEL** コントロールでメイン出力音量を調整します。
10. **FX RET** コントロールを回し、エフェクト信号をメインミックスへ追加します。
11. **SHAPE** ボタンを押すと、シェイプエフェクトがメインミックスへ追加されます。シェイプ機能により、ULTRATONE がキーボードサウンドの修正に使用できる革新的なタイプのフィルターをお届けします (K3000FX および K1800FX のみ)。
12. お手持ちのヘッドフォンへの接続は PHONES ジャックをご使用ください。
13. **PHONES LEVEL** コントロールでヘッドフォン出力レベルを調整します (K3000FX および K1800FX のみ)。
14. **POWER** スイッチを使用して ULTRATONE の電源を入れたり切ったりします。本機の電源を初めて投入する際には、POWER スイッチを徹ff唐ノしておいてください。
15. 電源接続本機を電源に接続する際には、電源コードを使用してください。
16. ヒューズホルダー / 電圧セレクター本機の電源を入れる前に、ご使用になる地域の電圧に適した電圧が設定されているかを確認してください。ヒューズが破損している場合には、必ず同じタイプおよび定格のものと交換してください。タイプによっては、ヒューズホルダーが 2 つのポジションのいずれかのみで起動する場合があります (230 V および 120 V など)。ヨーロッパ以外の地域で本機を 120 V でご使用の際には、高めのヒューズ定格をもったヒューズが必要となります。
17. **GROUND LIFT** スイッチにより LINE OUT 出力のアース接続を遮断し、グラウンドループが原因で発生するハムノイズを効果的に除去することができます (K3000FX および K1800FX のみ)。
18. ULTRATONE からミキシングコンソールへオーディオ信号を供給する際には、**LINE OUT** XLR バランス式コネクターをご使用ください (K3000FX および K1800FX のみ)。LINE OUT 信号はポスト EQ です。
19. これらは ¼" TS コネクターの **LINE OUT** 出力です (K900FX および K4500FX の場合、¼" TS コネクターは 1 個)。XLR コネクターおよび ¼" TS LINE OUT コネクターは同時に使用することができます。
20. ステレオ演奏時には、ULTRATONE の STEREO LINK 機能を活用できます。ULTRATONE の OUT を他のキーボードアンプ (トゥルーステレオ用スレーブ機) の LINK IN に接続できます。ULTRATONE をスレーブ機としてご使用の際には、マスターアンプの LINK OUT を IN に接続します (K3000FX および K1800FX のみ)。
21. **SUB OUT** コネクターからは、パワーアンプやアクティブ・サブウーファーの入力信号を接続するためのラインレベル・モノサブウーファー信号が送られます。
22. **FOOT SW** ジャックにフットスイッチを接続すると、エフェクトプロセッサーの起動・解除がおこなえます。
23. **CD IN** コネクター を使用すると、お手持ちの CD プレーヤー、テープデッキや MP3 ウォークマンの出力信号を接続することが可能となります。これにより、楽曲やキーボード練習用 CD にあわせて演奏することが可能となります。
24. これらは ¼" TS コネクターの **LINE** 入力です (チャンネル 1-4 (K3000FX/K1800FX) / 1-3 (K900FX/K450FX) 用)。モノ入力信号には L (MONO) コネクターを使用してください。
25. チャンネル1には XLR **MIC** 入力が追加装備されています。内部 +15 V ファントム電源によりコンデンサマイクの使用も可能となります。XLR コネクターおよび 9 コネクターは同時に使用することができます。この場合、チャンネル 1 の LEVEL コントロールが LINE および MIC 信号の両方のレベルを調整します。

技術仕様

	K3000FX	K1800FX	K900FX	K450FX
オーディオ入力				
ラインイン 1-4	¼" TS コネクタ			
入力インピーダンス	約 30 kΩ バランス			
ステレオリンクイン	¼" TS コネクタ			
入力インピーダンス	約 20 kΩ 不平衡			
CD イン	RCA コネクタ			
入力インピーダンス	約 20 kΩ 不平衡			
マイクイン 1	XLR コネクター			
入力インピーダンス	約 2 kΩ バランス			
オーディオ出力				
ヘッドホンコネクタ	¼" TRS コネクタ			
ラインアウト	¼" TS および XLR コネクタ			
出力インピーダンス	¼" TS コネクタ: 約 150 Ω 不平衡 XLR コネクター: 約 300 Ω バランス			
ステレオリンクアウト	¼" TS コネクタ			
出力インピーダンス	約 150 Ω 不平衡			
サブアウト	¼" TS コネクタ			
出力インピーダンス	約 150 Ω 不平衡			
イコライザ				
タイプ	FBQ フィードバック検出を備えたグラフィック EQ			
周波数範囲	63 Hz / 160 Hz / 400 Hz / 1 kHz / 2.5 kHz / 6.3 kHz / 12 kHz		63 Hz / 250 Hz / 1 kHz / 3.5 kHz / 12 kHz	
帯域幅	10 月 2/3 日			
制御範囲	+ 12 〜 -12 dB			
デジタルエフェクトプロセッサー				
コンバーター	24 ビットシグマデルタ、64/128 倍のオーバーサンプリング			
サンプリングレート	40 kHz			
システム仕様				
パワーアンプ出力	300 ワット	180 ワット	90 ワット	45 ワット
スピーカー				
タイプ	15 インチプゲラウーファーとカスタムメイドの 1 インチドライバー	12 インチプゲラウーファーとカスタムメイドの 1 インチドライバー	12 インチプゲラウーファーとカスタムメイドの 1 インチドライバー	10 インチプゲラスピーカー
入力インピーダンス	4 Ω			
電源				
主電源電圧				
アメリカ/カナダ	120 V 〜、60 Hz			
英国/オーストラリア	230 V 〜、50 Hz			
ヨーロッパ	230 V 〜、50 Hz			
中国/韓国	220 V 〜、50 Hz			
日本	100 V 〜、50 〜 60 Hz			
一般的な輸出モデル	120/230 V 〜、 50 〜 60 Hz			
消費電力	約 350 ワット	約 290 ワット	約 150 ワット	約 75 ワット
ヒューズ	100 - 120 V~: 6.3 A H 250 V 220 - 240 V~: 3.15 A H 250 V	100 - 120 V~: 6.3 A H 250 V 220 - 240 V~: 3.15 A H 250 V	100 - 120 V~: 3.15 A H 250 V 220 - 240 V~: 1.6 A H 250 V	100 - 120 V~: 2.5 A H 250 V 220 - 240 V~: 1.25 A H 250 V
主電源接続	標準 IEC レセプタクル			
寸法				
寸法	約 20 ⅞ x 23 ½ x 16" 約 530 x 597 x 406 mm	約 16 ⅞ x 19 ⅜ x 11 ¾" 約 429 x 492 x 299 mm	約 16 ⅞ x 19 ⅜ x 11 ¾" 約 429 x 492 x 299 mm	約 16 ½ x 17 ⅜ x 11 ¾" 約 419 x 441 x 299 mm
重量	約 70.10 lbs /31.8 kg	約 42.32 lbs /19.2 kg	約 39.90 lbs /18.1 kg	約 34.83 lbs /15.8 kg

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You